

地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	()
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	唐津市 (41202)
地域名 (地域内農業集落名)	鳩川 (鳩川)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	28.7 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	27.5 ha
② 田の面積	9.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	19.4 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

本地域の主な作物は海岸近隣の水田地帯は水稻が中心で、山手の土地改良区域における畑地帯では葉たばこ・野菜が栽培されているが、高齢化による遊休化が進んでおり、特に葉たばこは、栽培面積の更なる抑制が進む見込みであり、収益性の高い作物への円滑な転換が課題となる。(イモ類だとイノシシに狙われてしまうことも考慮する必要がある) イノシシの増加によって、農地や農業施設に土砂が流入することによる被害が増えている。 地区内に後継者がいる農家は4戸で将来農家数の見込みは9戸、うち5戸は地区外からの入り作となっており、すべての農家が現状維持又は規模縮小の意向のため、特に基盤整備済の農地については、担い手確保が課題となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

主要作物である水稻、野菜類の栽培を継続し、現在の生産方式により現担い手で農地を維持していくが、高齢化による離農が想定されるため担い手の確保については今後課題となる。他地域からの入作に寛容な地区であり、特に土地改良区域の畑地帯では3ha程度の遊休化が進んでいるため、企業参入など外部からの耕作希望は相談があれば地区として集積を図ってのマッチングについて話し合っていきたい。 農業施設が老朽すると住環境にも影響があり、災害発生も懸念されるため、多面的機能支払事業の取組を継続していきたい。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
認定農業者等の担い手が不在で農地利用者のみのため、新たな担い手の確保策を模索し、新たな担い手に農用地の集積・集約化を進め、新たな担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	0 %	将来の目標とする集積率	0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
新たな担い手に農用地の集積・集約化を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
当面は現在の耕作者が担い手として中心となり、地区内の農地を管理していく。 外部からの参入希望があれば、現在の担い手との農地集積を検討する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
現時点では地区としての活用方針は定めず、活用は各個人の検討・判断とするが、将来的に農地の集積、集約を進める時が来たら積極的に活用する。
(3)基盤整備事業への取組
水田地帯及び畑地帯ともに基盤整備による区画整理済であり、未実施農地に関しては点在しており、改良コストの面からも基盤整備は考えていない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
後継者の確保は、現在の農業情勢を考えると農家ごとの判断となる。 法人(企業)や他地域からの参入は、今後耕作者の減少は避けられないため、県や市から情報を得ながら、良い条件であればマッチングの検討はしていきたい。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
現在のところ農家個々で耕作ができており、受託する組織もないことから、活用予定はない

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①ワイヤーメッシュや電気牧柵器は、設置箇所における個人ごとの管理を継続しながら、捕獲の強化を今後の課題とする。

⑦多面的機能支払事業の取り組みを継続する。

⑩ルートグランブールの道路整備により、鳩川地区に雨水が集まる箇所が出ており、改善が必要。

⑩公民館前の道路が災害で寸断されると他に迂回路がなく孤立する小集落が出る恐れがあり、対策の準備が必要。

⑩地域計画及び目標地図の変更が必要となる場合は、改めて協議の場を設置することを基本とするが、住民負担の軽減を図るため、地区掲示板・回覧等で変更案の内容周知と意見の取りまとめを行うなど、簡易な方法による協議を行うことができるものとする。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者			2.1 ha	0 ha		2.5 ha	0 ha	1	
利用者		水稲 タバコ	2.2 ha	0 ha	水稲 野菜	2.1 ha	0 ha	2	
利用者		野菜	1.9 ha	0 ha	野菜	1.9 ha	0 ha	3	
利用者		水稲	1.8 ha	0 ha	水稲	1.2 ha	0 ha	4	
利用者			0 ha	0 ha		1.1 ha	0 ha	5	
利用者		水稲 野菜	0 ha	0 ha	水稲 野菜	1 ha	0 ha	6	
利用者		水稲 野菜	1.1 ha	0 ha	水稲 野菜	0.8 ha	0 ha	7	
利用者		水稲	0 ha	0 ha	水稲	0.5 ha	0 ha	8	
利用者		水稲	1.5 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	9	
利用者			0 ha	0 ha		0.3 ha	0 ha	10	
利用者		水稲 タバコ	0 ha	0 ha		0.2 ha	0 ha	11	
利用者			0.2 ha	0 ha		0.2 ha	0 ha	12	
利用者			0.8 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	13	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計			11.6 ha	0 ha		12.2 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。